

レイモン・サヴィニャック 年譜

Raymond Savignac Time Line



西暦	和暦	月	日	サヴィニャック	年齢
1907	明治 40	11	6	レイモン・ピエール・ギョーム・サヴィニャック、フランスのパリ市15区ジャンヌ・アシェット通りに生まれる。父はボン・マルシェ百貨店(パリ)の配達係、母は売り子で、ともにアヴェロン県出身。幼少期、両親が13区グラシエール街で大衆食堂の経営に転じ、一家は同地に居住。	0
1913	大正 2	9		14区プリス=ダヴェヌ街の公立小学校に入学。この頃、両親が大衆食堂を売却、12区ポルト・ドレ至近のカフェを購入するが、戦争によって開業には至らず。	5 - 6
1914	大正 3	8	3	ドイツがフランスに宣戦布告。父が召集され、母は裁縫師となる(のちに軍需工場勤務)。戦時中、学外活動として14区サン=ピエール・ド・モンルージュ教会付属青少年の家に通う。空襲の激化に伴い、母とアヴェロン県ヴィルフランシュ=ド=ルエルグ(母の出身地)に半年間の疎開。	6 - 7
1918	大正 7	11	11	パリ郊外コンピエーニュの森で、ドイツと連合軍との休戦協定が調印される。父が復員、両親はグラシエール街の大衆食堂を買い戻して営業再開。この間、両親が大衆食堂を再度売却、2区プティ=カロー街のカフェを購入して開業、一家は17区ルジャンドル街に居住。自転車に没頭し、将来は競技選手を夢見る。	10 - 11
1920	大正 9	9		8区ラボワジェ街のコレージュ(中学校)で高等工芸学校進学科に入学。この間、コレージュで商業科に転じるが、文学に没頭。	12
1922	大正 11			コレージュを中退。(求職中)	15

西暦	和暦	月	日	サヴィニャック	年齢
1923	大正 12			両親のカフェ顧客の紹介で、6区グラソ=ゾーギュスタン河岸のパリ地域公共交通公団(STCRP)に入社、図案画工として働きながら、夜学で工業デザインを学ぶ。職場の先輩マルセル・フォワンと親交。	15 - 16
1924	大正 13			STCRPで経理部へ異動後、数ヶ月で解雇される。(求職中)	16 - 17
1925	大正 14			フォワンの紹介で、ロベール・ロルタックの広告アニメーション映画工房(オー=ド=セヌ県モンルージュ)に画工として雇われ、仕事(既存ポスターの複写とオリジナルの広告画制作)を通じてポスターに目覚める。この頃、両親がプティ=カロー街のカフェを売却、4区テュレンヌ街のカフェを購入して新規開業、一家は同地に居住。	17 - 18
1926	大正 15			(ロルタックの工房に勤務)	18 - 19
1928	昭和 3			兵役に服する(当時フランス領のケール、並びにモゼル県サン=タヴォール、コート=ドール県ディジョン)。	20 - 21
1929	昭和 4			一年半の兵役を終える。ロルタックの工房に復帰するかたわら、ポスター原画(自主制作)を描き溜め始める。ロルタックの工房を辞め、パリで就職活動を開始(広告代理店回り)。(フリーランスとして活動)	21 - 22
1933	昭和 8			飛び込みでアリアンス・グラフィック社(マルセル・モワラン創設の広告代理店、パリ)を訪ね、A.M.カッサンドルと面会、すぐさまポスター1種とチラシ2種の仕事を与えられる。(アリアンス・グラフィック社の下請け)	25 - 26
1934	昭和 9	9		モワランの急死に伴い、アリアンス・グラフィック社が倒産・解散。カッサンドルのスタジオ(イヴリーヌ県ヴェルサイユ)にアシスタントとして通い始める。実家を出て、8区サン=ラザール駅至近に下宿。(カッサンドルのアシスタント)	26 - 27

西暦	和暦	月	日	サヴィニャック	年齢
1935	昭和 10			グループ展「ポスターと写真」(パリ、ビリエ=ヴォルムス画廊)に出品。アシスタント生活をしながら、フリーランスのポスター図案家として多くの仕事を引き受ける。(カッサンドルのアシスタント兼フリーランスとして活動)	27 - 28
1937	昭和 12			6区ジャコブ街のホテルへ転居。(カッサンドルのアシスタント兼フリーランスとして活動)	29 - 30
1938	昭和 13	冬		カッサンドルの渡米に伴い、アシスタント生活と私淑を終える。カッサンドルの紹介で、ドラジェール兄弟印刷所(モンルージュ)にポスター下絵師・図案家として入社。(ドラジェール兄弟印刷所に勤務)	30 - 31
1939	昭和 14	9	3	フランスがドイツに宣戦布告。召集(ディジョン、テリトワール・ド=ベルフォール県ルピュイ=ジー)に伴い、ドラジェール兄弟印刷所を退職。従軍中、同業のマックス・ボンティと親交。	31
1940	昭和 15	2	22	従軍休暇中、ヴァル=ド=マルヌ県サン=モール・デ=フォッセでマルセル・アンドレア・メルシエ(1912年、エヌ県ソワソン生まれ、パリで婦人帽制作)と結婚。	32
		6	17	ドイツ軍によるパリ陥落。	
		6	22	独仏休戦協定、ドイツのフランス占領。	
		6		復員、6区ジール=クール街に居を構える。(フリーランスとして活動)	32 - 33
1942	昭和 17			第30回フランス装飾美術家協会展(パリ)で広告コンソーシアム(ウージェーヌ・シュレール創設、ロリアル社傘下の広告代理店、パリ)のプロデューサー、ロベール・ゲランと出会う。(フリーランスとして活動)	34 - 35
1943	昭和 18			ゲランの紹介で、広告コンソーシアムにポスター・デザイナーとして入社。(広告コンソーシアムに勤務)	35 - 36

西暦	和暦	月	日	サヴィニャック	年齢
1944	昭和 19			アルジャンヴィック広告(パリ)の仕事も始める。	36
		8	25	連合軍・自由フランス軍によるパリ解放。	
				(広告コンソーシアムに勤務しながら他社の仕事も引き受ける)	36 - 37
(以下戦後)					
1947	昭和 22			シュレールの意向で、広告コンソーシアムを解雇される。(求職中)	39 - 40
1948	昭和 23			同業のベルナル・ヴィルモと再会、1区ダニエレ・カサノヴァ街の共同アトリエ(ヴィルモほか2名)で制作を始める。ヴィルモの提案で、二人展の準備に入る。(フリーランスとして活動)	40 - 41
1949	昭和 24	5	20	自主制作ポスター原画による「ヴィルモとサヴィニャック ポスター展」(パリ、メゾン・デ・ボザール)を開催、大きな成功を収める。出品作《牛乳石鱈モンサヴォン》(ボツとなった旧作)がシュレールの眼に留まり、ロレアル社の広告として正式に採用される。(フリーランスとして活動)	41 - 42
1950	昭和 25			ブリュッセル・ポスター・サロン展(ベルギー)に出品。以降、国内外の展覧会に多々参画。	42 - 43
1951	昭和 26			フランス・ポスター大賞を受賞(対象作品:《牛乳石鱈モンサヴォン》ほか3点)。これを記念して、写真家のロベール・ドアノーがサヴィニャックのポスターと活動をテーマにしたルポルタージュ作品を制作。1950年代以降、仕事と生活が安定。	43 - 44
1952	昭和 27	7		AGI(当時パリ)の初代会員の一人となり、第1回総会(イギリス、ロンドン)にも参加。	44
				この頃、仕事量の増加に伴い、スタジオを点々と移しながら、より広い場所を探す。	44 - 45

西暦	和暦	月	日	サヴィニャック	年齢
1954	昭和 29			2区ヴォルネ通りにスタジオ・自邸を構える。AGI総会(スイス、サン=サフォーラン)に参加、これを機にグループ「アーティスト・パートナーズ」を結成(サヴィニャックほか3名)。	46 - 47
1955	昭和 30	3	24	第1回AGI展「世界の芸術と広告」(パリ装飾美術館)に出品。	47
		5	8	同展の世界巡回。	47 - 48
1956	昭和 31			ニューヨーク・アート・ディレクターズ・クラブ主催の展覧会に出品、絶賛を得る。以降、国際的な評価が高まる。	48 - 49
1957	昭和 32			マルティニ大賞で特別賞を受賞(対象作品:エール・フランスのシリーズ)。以降、受賞多数。	49 - 50
1960	昭和 35			マルティニ大賞で銀賞を受賞(対象作品:テレビ《オセアニック セルヴォレグレル》)。	52 - 53
1963	昭和 38			フランス・ポスター大賞を受賞(対象作品:《ルノー4》)。	55 - 56
1964	昭和 39			マルティニ大賞で金賞を受賞(対象作品:《アスプロ》)。	56 - 57
1966	昭和 41			ポスターの普遍的な役割に関する誌上討論会に登場(雑誌『ルール』)。	58 - 59
1967	昭和 42			オスカー・グラフィック・アート賞を受賞。フランス文化省主催の個展を開催(アミアン美術館)、同展は国内外を巡回。以降、個展の機会が増す。	59 - 60
1970	昭和 45			フランス・ポスター大賞で国家賞(対象作品:エール・フランスの《小さなフランス人》)、マルティニ大賞で銀賞(対象作品:煙草《ラ・フランセーズ》)を受賞。	62 - 63
1971	昭和 46			14区ヴィラ・ブリュヌへ転居。諷刺画による個展「ポスター厳禁」(パリ、ロベール・デルピール出版画廊)を開催、不評に終わる。1970年代以降、世の中と広告のあり方の激変に伴い、仕事量が著しく減る。	63 - 64
1973	昭和 48			フランス・ポスター大賞で入賞(対象作品:《フランス国営宝くじ》)。	65 - 66

西暦	和暦	月	日	サヴィニャック	年齢
1974	昭和 49				66 - 67
		12	27	レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ章を受章。	67
1975	昭和 50			自伝『ポスター作家サヴィニャック』(ロベール・ラフォン出版、パリ)を刊行。	67 - 68
1978	昭和 53			フランス芸術文化勲章オフィシエ章を受章。	70 - 71
1979	昭和 54			カルヴァドス県トゥルーヴィル=シュル=メールの住宅を購入。	71 - 72
1981	昭和 56			フランス・ポスター大賞を受賞(対象作品:《前へ、シトロエン!》)。	73 - 74
1982	昭和 57			トゥルーヴィル=シュル=メールへ転居。以降、穏やかなペースで創作活動を続ける。	74 - 75
1984	昭和 59			フランス屋外広告大賞を受賞(対象作品:シトロエンの広告シリーズ)。	76 - 77
1986	昭和 61	9		ドキュメンタリー映画「街路の人サヴィニャック」(監督=ダニエル・コスト=ランバル、制作=アンナ・プロダクション+ベルー・ヴィジョン)の封切。	78 - 79
1987	昭和 62			自著『サヴィニャック ポスター A-Z』(エーベケ出版、パリ)を刊行。	79 - 80
1989	平成 1	3	24	レジオン・ドヌール勲章オフィシエ章を受章。	81 - 82
1992	平成 4				84 - 85
		11	16	国家功労勲章コマンドゥール章を受章。	85
1996	平成 8			トゥルーヴィル=シュル=メールの町旗をデザイン。	88 - 89
(以下21世紀)					
2001	平成 13			トゥルーヴィル=シュル=メールの海岸沿いの歩道が「サヴィニャック遊歩道」と命名される。	93 - 94
2002	平成 14	10	29	サヴィニャック、トゥルーヴィル=シュル=メールで逝去、享年94歳。	94

